はんぞう通信

Sep 11th, 2026

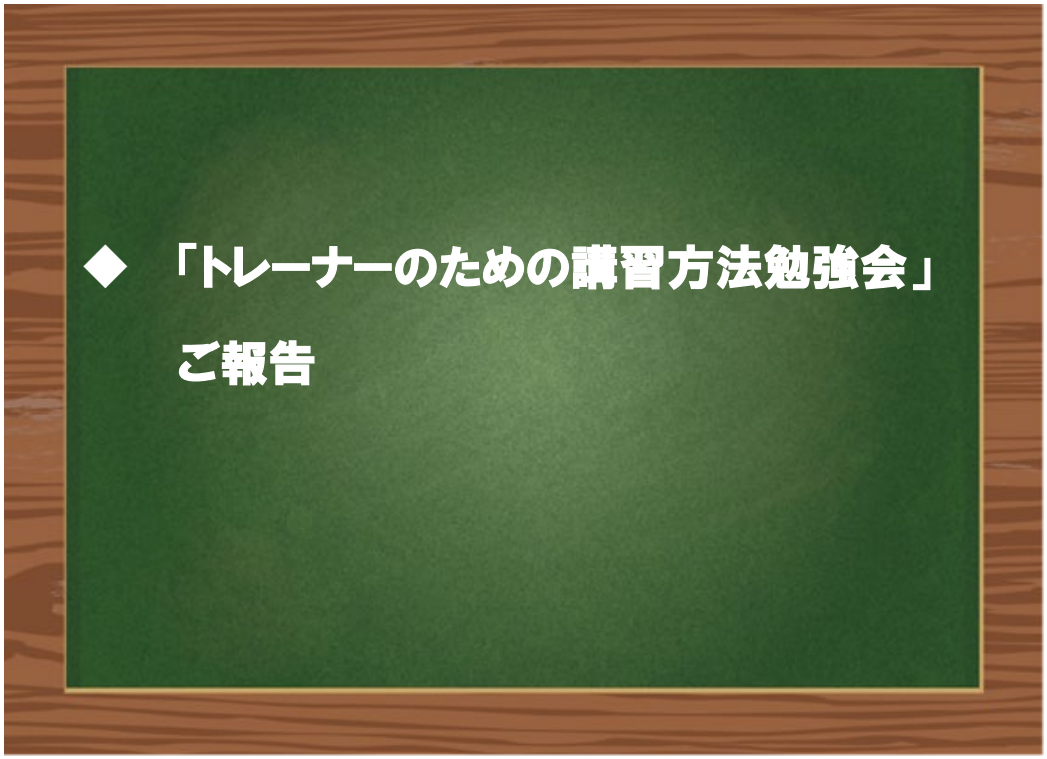


■「トレーナーのための講習方法勉強会」ご報告
■おじトレから一言

はんぞう通信　Vol.60 の内容

★メールマガジン発行のお知らせ

　時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
この度、安全教育専門委員会よりメールマガジン Vol.60 を発刊することになりました。
今回は、8 月に実施された「トレーナーのための講習方法勉強会」のご報告です。



■「トレーナーのための講習方法勉強会」ご報告

8 月 4 日(火)、SEAJ 事務所において「トレーナーのための講習方法勉強会」が開催され、現地にて 4 名、Web では 11 名のトレーナーの方々にご参加いただきました。

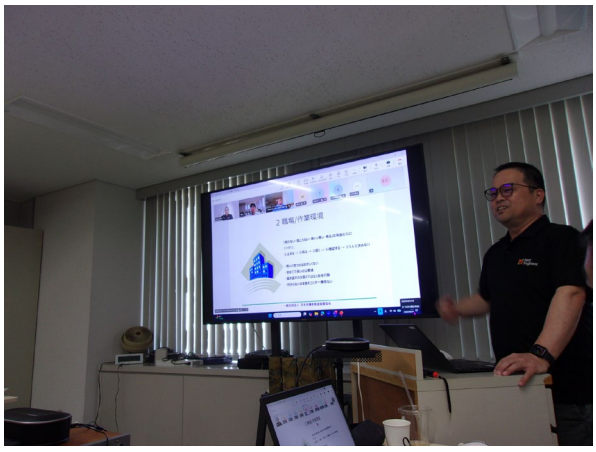
前半は、3 名のトレーナーによるティーチバック（模擬講習）が行われ、それぞれ工夫を凝らした講習をご披露いただきました。

後半は、参加者からリクエストのあった「13 章　無人搬送台車」や「リスクアセスメントの進め方」に関する委員の模範講習、および意見交換会を実施しました。意見交換会では、リスクアセスメントの運用や、外国人労働者への安全教育方法について活発な議論が交わされました。

参加者からは「ティーチバックは勉強の機会になった」「今後も Web 形式で開催してほしい」などの意見を多くいただきました。

「テキスト内容を自社のニーズに合わせ、いかに印象的に伝えるか」という共通の課題に対し、多角的に考える有意義な機会になったのではないでしょうか。

次回も皆様のご参加を心よりお待ちしております。





■　おじトレから一言

ペンネーム　どらむすこ

イントロ

　近年の音楽業界はサブスクリプションの浸透により、イントロが短い楽曲が多くなっているという話を聞いたことがあります。
イントロが長いと曲全体が長くなるので再生回数が稼げないとか、30 秒以上再生しないと視聴回数にカウントされないからとか、マーケティング側の事情があるようですが、視聴者側としても、早く歌詞を聴きたいからイントロを飛ばしてＡメロから聴く人も多いとのこと。
まさにタイパの時代ですね。

本題に入りまして、私は準マスタートレーナーという役割柄、SEAJ 安全講習時のオープニング挨拶を担当する機会が多く、楽曲で言えばイントロ担当という事になると思いますが、担当就任時はここで何を言おうか悩んでいた時期がありました。
特に更新教育での挨拶は、「3 年ぶりの講習になるので、かなり忘れている内容もあるかと思います。」
的な話をダラダラとしていたのですが、どうも話していて月並み、というか味気がないというか、起伏に乏しいというか・・・。
語り手の気持ちというのは受講者にも伝わってしまうもので、やはりつまらない話と受け止めている表情。
心中では「こんなイントロはカットでいい！」と思われているかも・・・というネガティブな妄想をしてしまう時期がありました。

もう少し気の利いた話は出来ないものか。無駄を感じさせず、受講者の印象に残って、加えて端的な表現で・・・。
あれこれ悩んだ末、最近の挨拶では自分が感じている時間感覚も盛り込んで、こんな感じのトークを入れるようにしました。

「皆さんのお顔を拝見すると、あれ？去年受講していませんか？と思わず聞きたくなってしまいます。
光陰矢の如しで、本当に 3 年間なんてあっという間に経過するものだと思いませんか？

しかし、主観時間で捉えれば短くても、絶対的な時間で言えば前回の講習から1000日以上が経過しています。これは、当時学習した内容の大半が、皆さんの記憶から消去されてしまうのに十分な時間だと考えますので、今日の更新教育の履修で各章の安全知識を思い出していただき、今後3年間の安全作業に生かしていただくことに繋がれば幸いです。」

とまあ、こんな感じで大した工夫はしていないものの、以前よりはましに「飛ばされないイントロ」になった気がしており、実際頷いてくれる受講者が増えたので、まんざら自己満足だけにとどまらない手応えを感じる様になりました。

70年代のイーグルスの楽曲「ホテルカリフォルニア」は、イントロだけで1分近くあるのですが、素晴らしいメロディーラインのおかげで冗長感は全くないどころか、続く印象的なAメロを引き立て、有名なサビに繋げるという、まさに起承転結が洗練された名曲になっています。この曲のイントロ部分を飛ばして聴く人は少ないのではないでしょうか？

不肖ながら私も「ホテルカリフォルニア」レベルの完成度を目指し、今後も精進して行きたいと思います。

ご安全に！



以上

発行責任者

SEAJ Semiconductor Equipment Association of Japan

一般社団法人日本半導体製造装置協会
安全教育専門委員会

お問い合わせ先

TEL03-3261-8261　FAX03-3261-8263

E-mail anzen@seaj.or.jp　担当者　栗原